

【教員氏名】

軽部 恵子
研究室:聖アンデレ館 10階 1022号室
メールアドレス:

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

この講義では、アメリカの地理、気候、歴史、文化、宗教、経済、産業など、幅広く学びます。「アメリカ」は南北アメリカ大陸を指す場合、アメリカ合衆国を指す場合などがあります。メキシコは北アメリカ大陸にありますが、ラテンアメリカに含まれます。このような使い分けはなぜ生まれたのでしょうか。

春学期は「アメリカ」の歴史を学びます。秋学期は事例研究として、南アメリカ、中央アメリカと西インド諸島、北アメリカの地域から代表的な国を取り上げ、それぞれに対する理解を深めます。毎回の講義では、絵画、写真、ドキュメンタリー番組、史実に基づいた映画など、各種の視聴覚教材を積極的に利用します。国内外のメディア(新聞社、テレビ局、通信社等)のホームページを教材として用い、メディア・リテラシーを学びます。「アメリカ」に関する重要ニュースは随時取り上げます。

【学習目標】

- (1)地域としてのアメリカ史を概観し、アメリカ研究に必要な基礎知識を習得する。
- (2)アメリカ合衆国を中心に、南北アメリカ大陸にある国の基礎知識を習得する。
- (3)地域研究の視点から国際ニュースに関心を持ち、メディア・リテラシーを学ぶ。

【講義計画】

- 第1回:「アメリカ」とは何か
- 第2回:大航海時代とアメリカ植民地の建設
- 第3回:アメリカ独立革命からフランス革命へ
- 第4回:ナポレオン戦争とラテンアメリカ諸国の独立
- 第5回:西部開拓、南北戦争、工業化の進展
- 第6回:アメリカ合衆国のカリブ海政策
- 第7回:第一次世界大戦と「アメリカ」
- 第8回:禁酒法、世界恐慌、ファシズム
- 第9回:第二次世界大戦と「アメリカ」
- 第10回:冷戦の開始とキューバミサイル危機
- 第11回:ベトナム戦争と米中国交正常化
- 第12回:ラテンアメリカ諸国の軍事政権と民主化
- 第13回:冷戦の終結と湾岸戦争
- 第14回:アメリカ同時多発テロからイラク戦争へ
- 第15回:グローバリズムと「アメリカ」
- 第16回:南アメリカ(1) ベルー
- 第17回:南アメリカ(2) ブラジル
- 第18回:南アメリカ(3) アルゼンチン
- 第19回:中央アメリカと西インド諸島
- 第20回:北アメリカ(1) メキシコ
- 第21回:北アメリカ(2) カナダ
- 第22回:北アメリカ(3) アメリカ合衆国① 地形、気候、産業
- 第23回:北アメリカ(4) アメリカ合衆国② 大統領選挙のしくみ
- 第24回:北アメリカ(5) アメリカ合衆国③ 大統領の任務と権限
- 第25回:北アメリカ(6) アメリカ合衆国④ 連邦議会のしくみ
- 第26回:北アメリカ(7) アメリカ合衆国⑤ 人種、移民、宗教
- 第27回:北アメリカ(8) アメリカ合衆国⑥ 女性、ジェンダー
- 第28回:北アメリカ(9) アメリカ合衆国⑦ メディア
- 第29回:北アメリカ(10) アメリカ合衆国⑧ 日本との関係
- 第30回:学期末試験とまとめ

【成績評価の方法】

試験評価:100% レポート:0% 出席:0%
講義は通期で行われますが、成績は秋学期末試験(2018年1月末実施)のみで評価します。教室内で出席票を配布するのは、受講生が講義への感想や質問、要望等を書くため、「出席点」にはなりません。講義時間内に行う小テストは、受講生が自身の理解度を確認するため、成績評価に詳しい関係ありません。

【使用テキスト】

成美堂出版編集部編『一冊でわかるイラストでわかる図解世界史』成美堂出版

【参考文献】

※アメリカ合衆国以外の国・地域に関する参考文献は、講義の中で紹介します。
明石和康『大統領でたどるアメリカの歴史』岩波書店 2012年
有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史:テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣 2002年
佐々木卓也『戦後アメリカ外交史』有斐閣 2009年
渡辺将人『アメリカ政治の壁:利益と理念の狭間で』岩波書店 2016年
西山隆行『移民大国アメリカ』筑摩書房 2016年
上杉忍『アメリカ黒人の歴史:奴隷貿易からオバマ大統領まで』中央公論新社 2013年

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】

教室で毎回配布される講義レジュメの指示に従って、教科書の関連部分および参考サイトで予習・復習してください。

【その他備考(担当教員用)】

- ①履修登録する前に、教員作成の「講義運営のルール」を必ず読んで下さい。学期冒頭に配布します。
- ②教科書は毎回使います。教科書を持参しない学生に対する配慮はありません。

【備考(管理者用)】